



令和4年
7月20日発行
第90号
バックナンバーは市のホームページからご覧いただけます。
(トップページ→暮らし・手続き→ごみ・リサイクル→ごみカレンダー→ザ・リサイクル)

発行 / 調布市環境部ごみ対策課 〒182-0031 調布市野水 2-1-1 クリーンセンター
TEL:042-306-8781 FAX:042-368-9921 E-mail:gomitai@w2.city.chofu.tokyo.jp

引き続き、ごみ減量へのご協力をお願いします。

令和3年度調布市のごみ量が確定しました



令和3年度のごみ量は前年度から**663t**減少し、**62,196t**になりました。また、市民1人1日当たりの家庭系ごみ※排出量は、前年度から**7.6g**(約**1.9%**)減少し、**384.5g**になりました。市民・事業者の皆さんの日ごろのご協力に感謝致します。

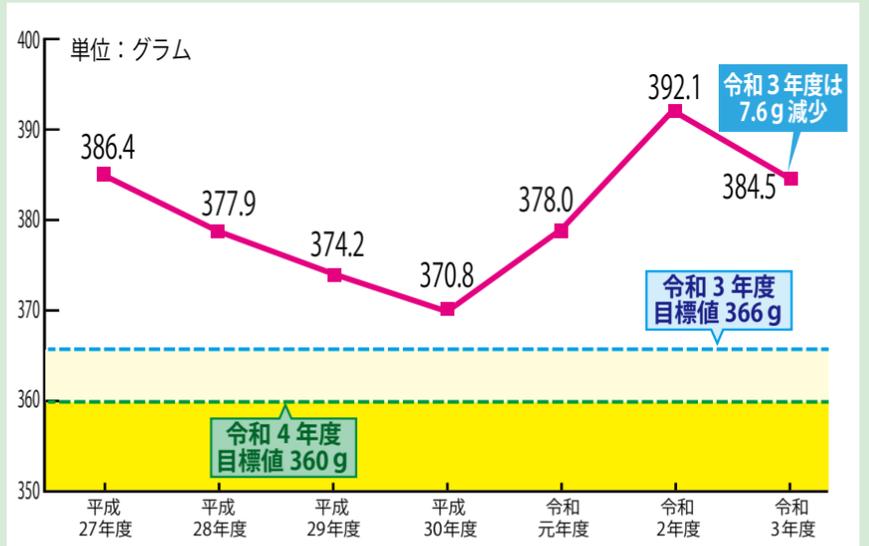
しかしながら、まだコロナ禍以前よりも高い水準にあることから、ごみ減量に向けた取組へのさらなるご理解・ご協力をお願いします。
※家庭系ごみ = 「家庭系燃やせるごみ」 + 「燃やせないごみ」 + 「有害ごみ」 + 「粗大ごみ」

古紙を大切に！



令和3年度に行った調査・分析から、燃やせるごみの**8.9%**(約**2500t**)が、まだリサイクルできる古紙(新聞・雑紙・ダンボールなど)でした。適切な分別により、ごみを減らし、限りある資源をみんなの力で守りましょう。

家庭系ごみ(市民1人1日当たり)の推移



調布ごみダイエット注意報



令和3年度のごみ排出量は、1人1日あたり**384.5g**となり、目標値を**18.5g**(シュウマイ1個分程度)上回りました。

目標値(366g)との差

4月～6月	401g (+35g)
7月～9月	390g (+24g)
10月～12月	390g (+24g)
1月～3月	357g (-9g)
令和3年度全体	384.5g (+18.5g)

旧クリーンセンター跡地に BRANCH 調布 がオープン (ランチ)

市有地を活用した公民連携事業として、クリーンセンター移転後の跡地(東京都調布市深大寺東町7丁目47-1)に、複合商業施設「BRANCH(ランチ)調布」(民間施設)が令和4年4月22日にオープンしました。

BRANCH(ランチ)調布は、「地域社会における高齢者の社会参加と生きがいづくり、健康づくりの場の確保のほか、多世代交流、地域交流に寄与するとともに、福祉・安全安心・コミュニティなど地域の多様なニーズに応じたサービスを提供する施設」をコンセプトにしています。

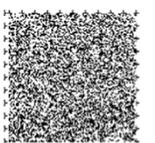
施設内には、飲食店や家電量販店などのほか、コミュニティスペースや公共施設である「ふじみ交流プラザ(開館時間/午前9時～午後10時 休館日/毎月第4月曜日、年末年始)」があります。



オープニングセレモニー



旧クリーンセンター時代からこの場所を守っている白樺の木



調布市ごみ減量・リサイクルキャラクター

「リサッチョ (仮称)」誕生!!

調布市内のごみ減量・リサイクルを更に推進していくため、この度、相互友好協力協定に基づく白百合女子大学との共同事業として、学生の皆様のご協力のもと検討を重ね、この度ごみ減量・リサイクルキャラクターがデビューすることとなりました!

キャラクターの名前は「リサッチョ」で、リサイクルのリサと調布市のチョが由来です。今後市内の3R推進に向け、ごみ対策課広報誌「ザ・リサイクル」やごみアプリ、ごみ収集車やごみ減量グッズへの掲載など、暮らしの中のあらゆる場面で登場します!



キャラクターコンセプト

- ◎ごみを分別しない世界から来た「子ども用ロボット」。
- ◎調布市のごみ対策について、もっと知りたくてやってきた。
- ◎素直で、好奇心旺盛、子どもや人との触れ合いが好き。
- ◎調布が好きなので、自ら体を調布市シンボルマークの色にしている。
- ◎頭には、調布の森で拾った百日紅の葉をさしている。
- ◎調布のイニシャル「C」をデザインしたポケットをつけている。

授業の風景



▶ 白百合女子大学キャンパス



「リサッチョ」は、白百合女子大学の授業「キャラクター論」の中で制作を進めていただきました。

受講する学生全員でキャラクター案を出し合い、教員の皆様のほか、廃棄物減量及び再使用促進審議会委員や市職員も加わり、市内の3Rを推進するため、将来をになう子どもたちにごみについて興味をもってもらうことなども想定し、あらゆる場面で活躍できるキャラクターを選定しました。

また、共同制作で終わりではなく、引き続き、キャラクターを活用した効果的なPRコンテンツを展開することにより、3R推進を目指してまいります。

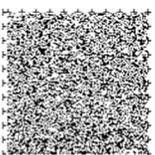
いとう先生プロフィール



- ・クリエイティブディレクター
- ・株式会社エソラリア代表
- ・白百合女子大学非常勤講師

大手企業中心に広告・コンテンツ制作、キャラクター戦略・ブランディング等を手がける。国内外受賞多数。

主な著作に『売れるキャラクター戦略』(光文社新書)がある。



いとう先生からひと言

調布市と白百合女子大学との地域連携で、ごみ減量対策を啓蒙するオリジナルキャラクターを開発する。そのようなSDGsとしても意義のあるプロジェクトに関われたことは、大変ではありましたがとても光栄なことです。学生たちとともに調布市の取り組みについて調べ、議論をし、授業内での発表を繰り返し行いました。トータルでは50以上のキャラクター案が出てきました。皆で投票を行い、ベースになる案が決まったあともさらにアイデアを出し合いました。学内だけでなく調布市の方や外部の専門家にも投票をしてもらい、誕生したのがこのキャラクターです。しかしこれで完成ではありません。まだ、生まれたばかりのこの子が、これからどんなふうにも、調布市の活動を通して世の中に貢献していくキャラクターになれるのか。立派に成長できるように、みなさんと一緒に見守りたいと思います。

調布の

清掃作業員さんに聞きました!

part4



ビンのリサイクルに情熱を傾ける若林さんです。体力を使う仕事なので、体調管理にはいつも気を付けているそうです! それではお話を聞いてみましょう(^)/

ビンのリサイクル事業者の方にインタビュー

市内のご家庭から出される飲み物や調味料などのビン。収集されたビンは、クリーンセンターに集められ、大型車両に積みかえて、東京都青梅市にあるリサイクル施設に搬送しています。今回は、このビンを受け入れ、選別・リサイクル作業を行っている「株式会社若林商店」の若林さんにお話を聞きました。

どういった作業ですか?
調布市で回収されたビンを、リサイクルを目的とした「無色」「茶色」など色ごとの分別や、洗って再利用(リユース)される生きビン(リターナブルビン)の選別を行い、それぞれ次の処理に向けて工場等へ引き渡しています。

作業をしていて特に大変なことは何ですか?
再利用に適していて、環境にもやさしいリターナブルビンは、傷が付いたり割れたりすると価値がなくなってしまいます。そのため、ビン運ぶ時やコンテナから出す際に細心の注意を払いながら作業にあたっています。



コロナ禍の影響を感じますか?
コロナ禍前と比較して、1~2割ほどビンの量が増えており、巣ごもりや家飲みが定着した影響を感じます。

ビンの魅力って何ですか?
ビンはリサイクルの優等生なんです。原料は国内でまかなえ、リユースにも適しており環境負荷が少ない。また、100%天然素材であり、有害物の心配がない。さらに、ビンからビンへのリサイクルを行うことで、半永久的に資源を有効活用することができます。こうした魅力を、どうやって皆さんに伝えていくかが課題だと思っています。



若林さんが日頃、ごみ減量のために心掛けていることを教えてください。
何かを買う時の基準に、不要となったその後のことを考えています。多少金額が高くても、リユースやリサイクルに向いていそうな形状や素材のものを選び、長い目で見て、自分なりに3Rを推進していこうと考え、実践しています。

最後に、ビンを出す際に皆さんに気を付けて欲しいことがあれば教えてください。
ビンを出す時には、きちんと洗う・異物は取り除くなど、基本的なことを守って実践していただくことが、環境保全につながっていきます。ぜひ、ご協力をお願いします。



作業中の様子

調布市ふるさとのみどりと環境を守り育てる基金のご紹介



この基金は、募金や寄附のほか、市民の皆様の具体的な環境行動の成果であるごみの分別や、徹底した粗大ごみの解体によって取り出した**資源物の売り払い代金**などを積み立てています。

積み立てた基金は、緑の公有化や緑化・地球温暖化対策・環境学習のほか、地域集団回収事業奨励金やごみリサイクルカレンダー作製・配布などの経費に活用されています。

市内の将来世代へ残すべき「みどり」と「環境」を守るため、より一層のごみ分別にご協力をお願いします!



圧縮・成形されたアルミ缶



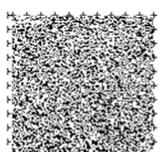
粗大ごみ解体の様子

基金のイメージ

募金・寄附、資源物の売り払い代金

積立・運用

地域集団回収事業奨励金やごみリサイクルカレンダー・緑の公有化や緑化・地球温暖化対策・環境学習経費への活用



募集中 ちょうふエコ川柳を

1に出さない、2に分別、3、4がなくて **ごみ川柳**

大募集

毎年ごみ対策課では、ごみの減量やリサイクルをテーマにした川柳を募集し、大きな反響をいただいています。

今年も「ちょうふエコ川柳」を募集します。食品ロス削減・海洋ごみ問題・レジ袋削減など、ご自身で取り組もうとしていることや、思わずクスッと笑ってしまいそうな失敗談など、ごみの減量やリサイクルについての思いを自由に楽しく表現してください。

- 募集期間** 7月5日(火)から9月6日(火)まで
- 応募対象** 市内在住・在学・在勤の方
- 募集区分** ①小中学生の部②高校生以上の部
- 応募方法** メール・ファックス・郵便はがきのいずれかの方法で、**下記の内容をすべてご記載ください。**

- ①川柳②住所③氏名(ふりがな)
※本名で応募してください。
発表時にペンネームをご希望の方はその旨を記載してください。
- ④年齢⑤応募する部門(①小中学生の部②高校生以上の部)
- ⑥電話番号⑦(学生の場合)学校名・学年
※学校や会社単位での応募も可能です。
※自作の句に限ります。一人1句までです。
- 応募宛先** 〒182-0031 調布市野水2-1-1
調布市クリーンセンター ごみ対策課減量対策係
FAX: 042-368-9921
E-mail: gomitai@w2.city.chofu.tokyo.jp

優秀賞(各区分1位から3位まで)及び特別賞受賞には記念品を贈呈します。



小中学生ポスター作品も

大募集!!



「これならできるごみ減量とリサイクル」をテーマに、ごみ減量やリサイクル推進、食品ロス削減・海洋ごみ問題・レジ袋削減などのために自分で心がけている、またはこれからしようとしていることを描いてください。また、作品内にはキャッチフレーズを入れてください。

- 募集期間** 7月5日(火)から9月6日(火)まで
- 応募対象** 市内在住・在学の小中学生
- 募集内容**
 - ①用紙は四つ切り画用紙(381×540ミリ程度)を使用(縦・横自由※紙などの貼付けは不可)。
 - ②作品裏側に必ず**学校名・学年・氏名(ふりがな)**を記入。
 - ③市の分別方法等がわからない場合はごみリサイクルカレンダーを参考にしてください。
- 募集区分**
 - ①小学校低学年(1・2年生)の部
 - ②小学校中学年(3・4年生)の部
 - ③小学校高学年(5・6年生)の部
 - ④中学生の部
- 提出先** 市立小中学校の児童・生徒は通学先の学校に提出してください。それ以外の児童・生徒は直接本庁2階ごみ対策課窓口へ持参してください。

優秀賞(各区分1位から3位まで)受賞者には記念品を贈呈します。また、応募者全員に参加賞を贈呈します。

【川柳・ポスター共通事項】

注意事項: 応募いただきました作品の著作権は調布市に帰属することとし、入賞作品については、ごみリサイクルカレンダーや調布市のホームページなどに作品とお名前等(匿名等可)を掲載しますのでご了承ください。
その他: 応募作品は、9月30日(金)13時~10月6日(木)正午に文化会館たづくり11階みんなの広場で展示し、来場者の投票により入賞作品を選出します。

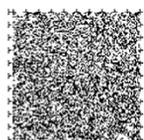
令和3年度の金賞作品



川柳・ポスターの入賞作品は「ごみアプリ」や「ごみリサイクルカレンダー」に掲載します!

調布市指定収集袋への 広告主を募集しています

調布市では、右記のとおり調布市指定収集袋への広告主を募集しています。会社・団体のPRにぜひご活用ください。



- ① 募集内容** ※複数の申込可
 - ①家庭系燃やせるごみ専用袋本体 ※1 各サイズ(S・M・L・LL)1枚 合計4枚
 - ②本体を束ねる紙帯 ※2 各サイズ(S・M・L・LL)1枚 合計4枚
- ② 申込方法** 調布市ホームページから必要書類をダウンロードし、必要事項をご記入のうえ、ごみ対策課まで提出(データ提出可)
- 募集期間** 令和4年7月21日(木)~8月31日(水) ※土日を除く
- 受付時間** 午前8時30分から午後5時15分

広告スペース



詳細は市のホームページをご覧ください

問い合わせ先
ごみ対策課
☎042-306-8781

このマークは音声コード「Uni-Voice」です。専用のアプリなどを使って音声データを聞くことができます。